

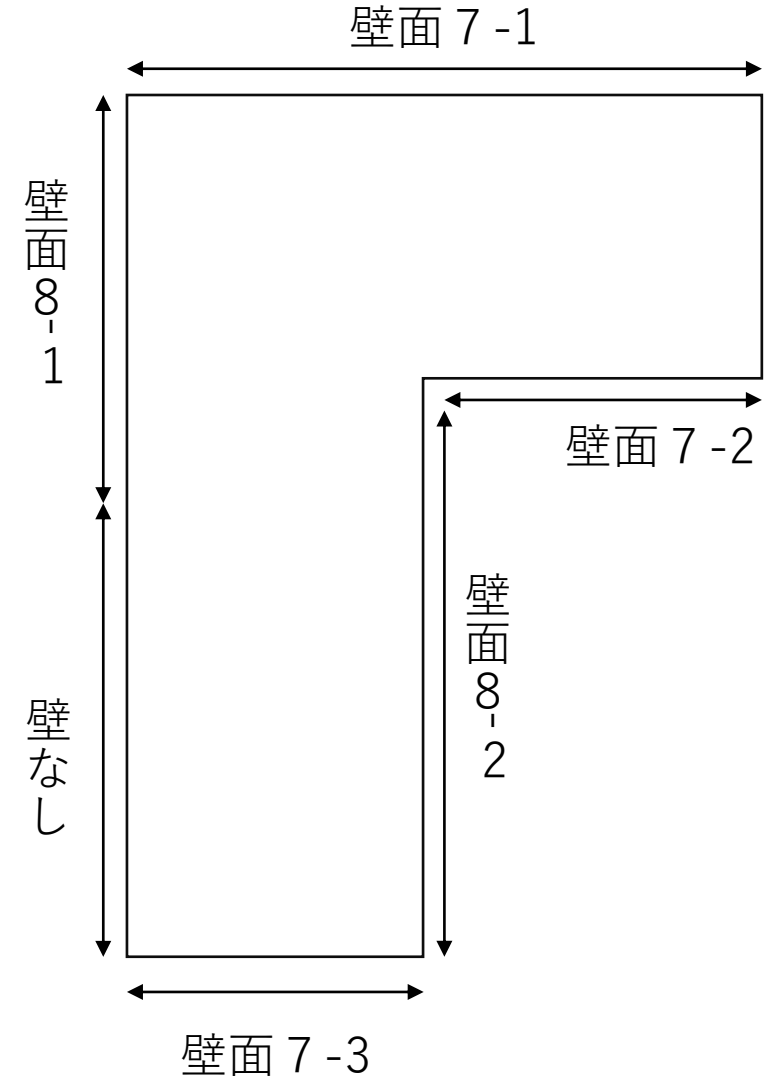
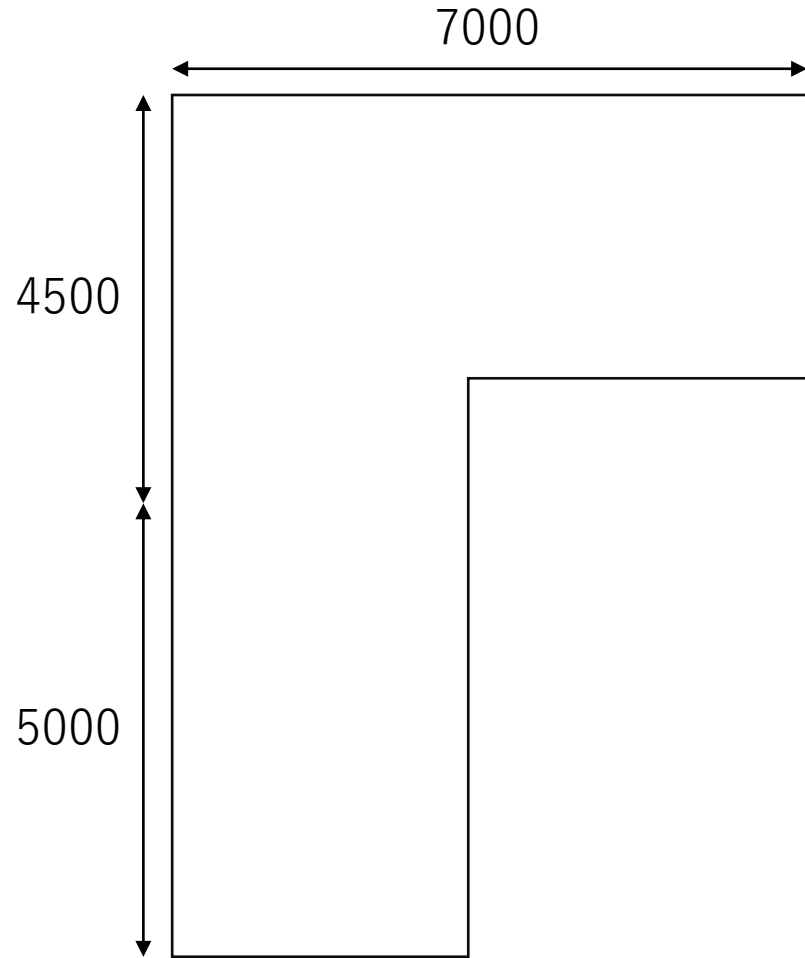
あやかし回廊の提案

あやかし回廊のコンセプト

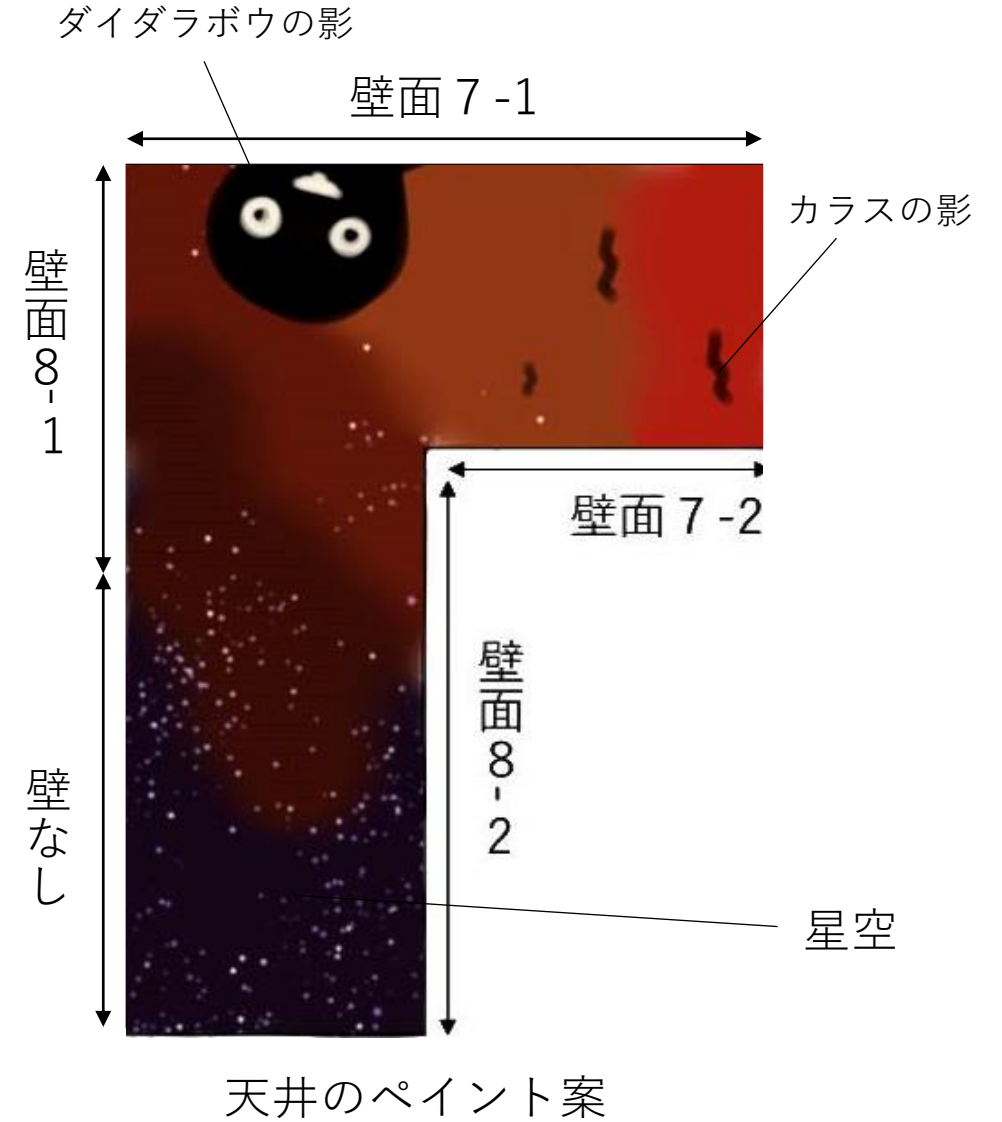
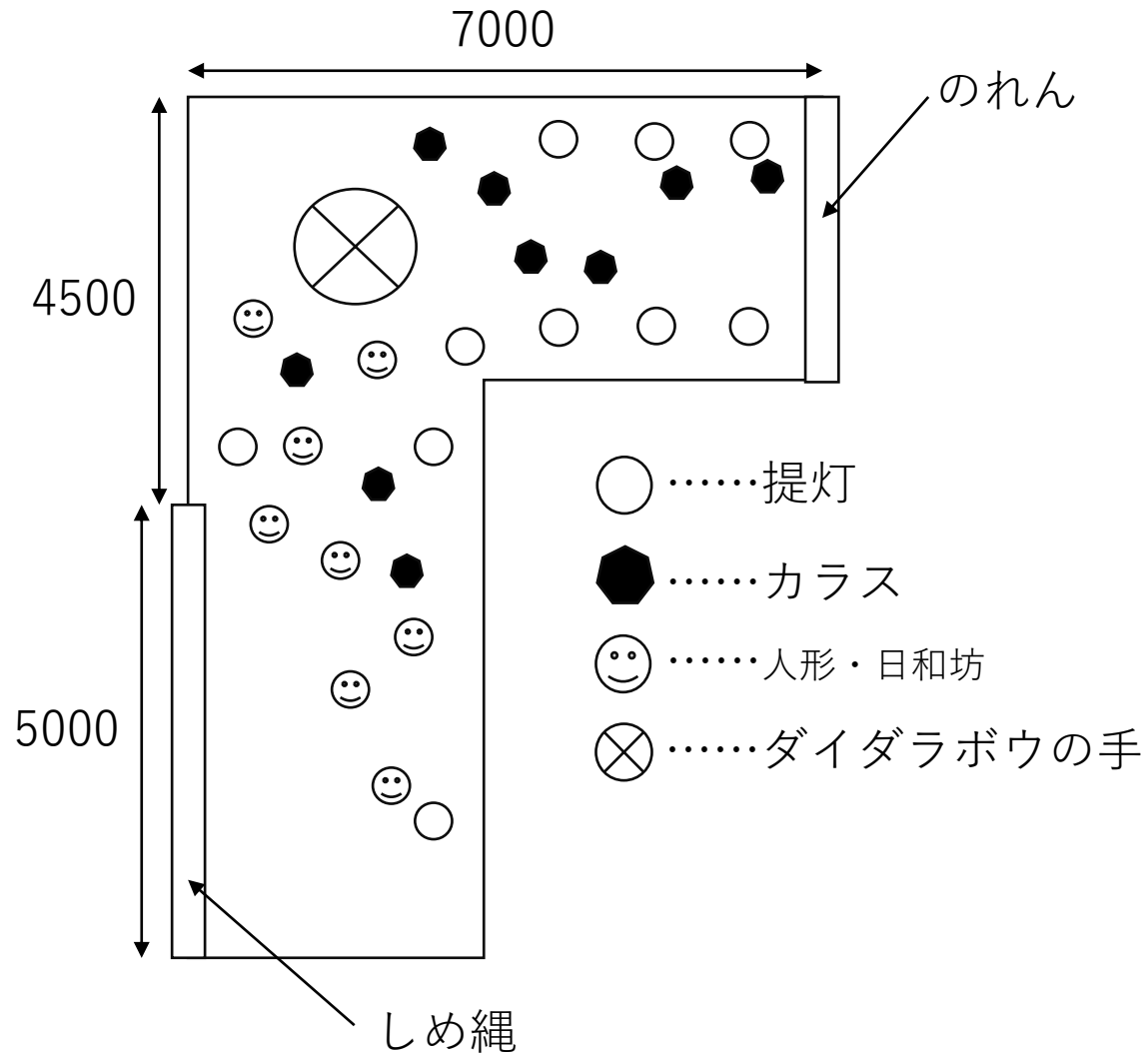
- 「あやしさ」の演出
「妖しさ」……人をひきつけるような不思議な魅力を備えている様子。
- あやかしの世界を人間（入館者）が旅をする → 神様が見守っている状態での安全で不思議な旅
神様 人間を見守っている
あやかし 人間を驚かせたい、怖がらせたい、人間の様子を楽しんでいる
- 子どもや家族連れの入館者もいるので「怖さ」は抑える
- 基本的な配色を「赤」「白」「黒」により表現をする。

あやかし回廊の提案

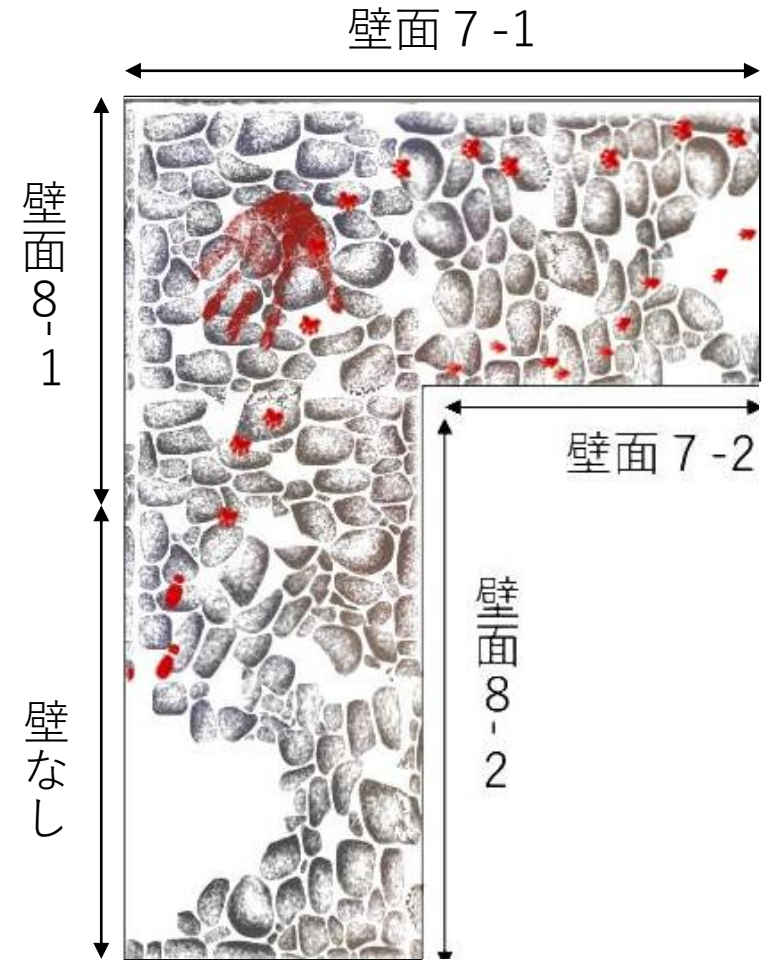
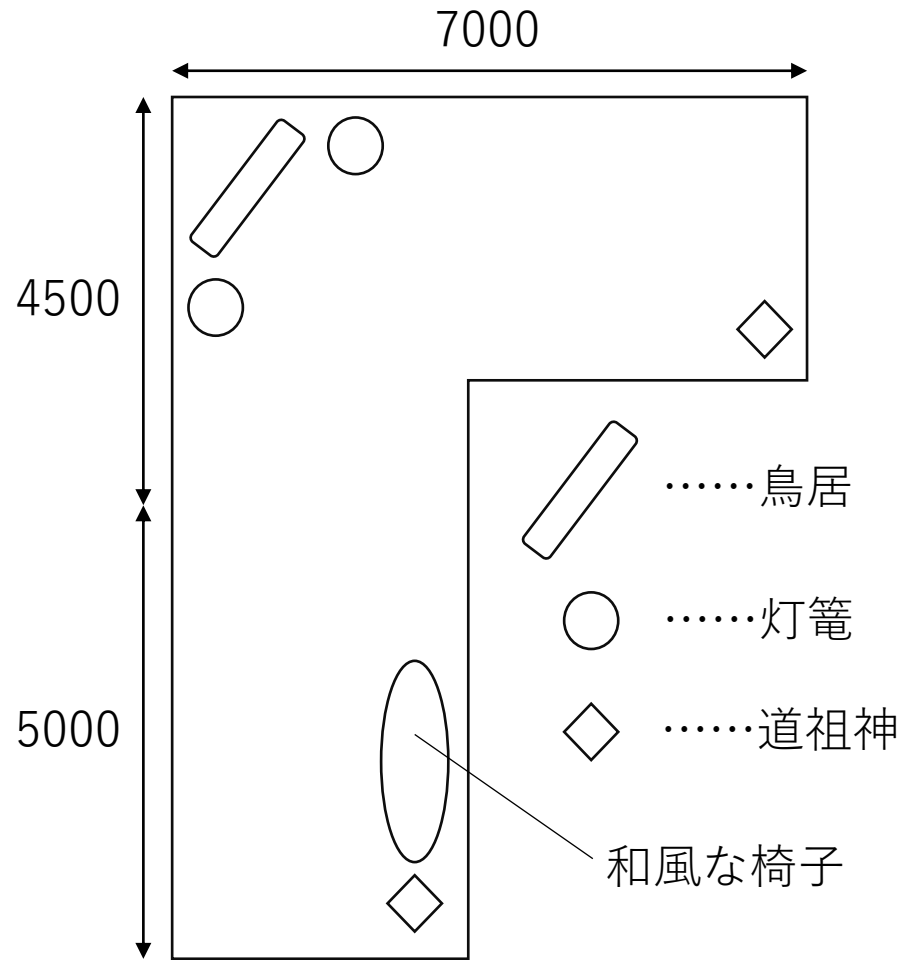
壁面の大きさと壁のパネルの名称



あやかし回廊の天井配置



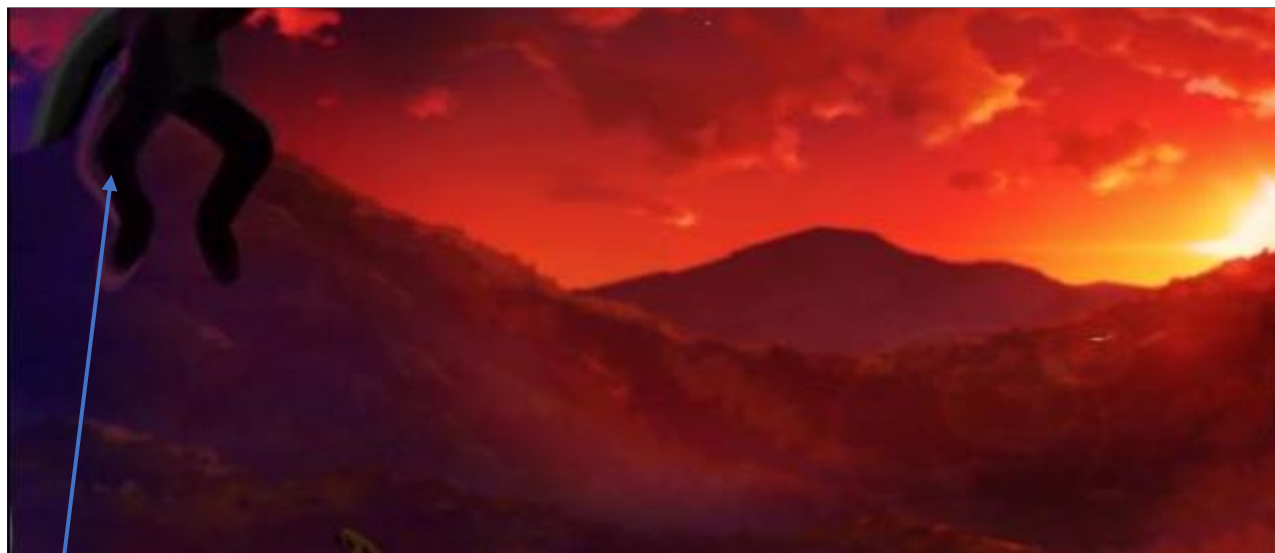
あやかし回廊の床配置



床のペイント案

あやかし回廊の壁面案

壁面7-1 夕暮れと山



7000

- ダイダラボウの身体は天井の顔につながるように描く
- 黄昏時 = 「この世」と「あの世」の交わる時間



3000



書き込みたいあやかし

- カラス天狗
- わいら
- 大鯰

遠くの山・空に大きな妖怪たちが現れる。
物珍しい小さな来客の顔を覗きに來たらしい。

あやかし回廊の壁面案

壁面7-2 川



3000

書き込みたいあやかし

- 河童
- 小豆あらい
- 夜刀神

河川敷の妖怪は楽しそうな雰囲気。
この妖怪たちには人間が邪魔することの
無い妖怪の住処があるようだ。



- 河童について、手を
継いだ河童（包帯を
巻いている）、寧々
子なども配置する

あやかし回廊の壁面案



- 鳥居を設置しているので邪魔にならない位置で花嫁花婿を描く

壁面8-1 森の中



4500

書き込みたいあやかし

- 狐の嫁入り

近くの寺社で結婚した夫婦がいたが、何かがおかしい。隠しきれない耳や尻尾……結婚したのは狐たちだった。

壁面8-2 竹林と一軒茶屋



3000

書き込みたいあやかし

- 半妖
- 貉
- 山姥

「この世」と「あの世」のはざままで茶屋を営む半妖。迷子になった人間たちを元の世界に返してくれるようだ。普段はいたずら好きな妖たちも本当は人間が大好きなのだ。

- 半妖とは人間と妖怪の間に生まれた者を指す。近年、多くのメディアミックスで取り上げられている。
- ヒト型のあやかし達を、親和性が高くなるように配置する。
- 茶屋の前には赤い椅子を置き、日本人形と共に一休みができる。



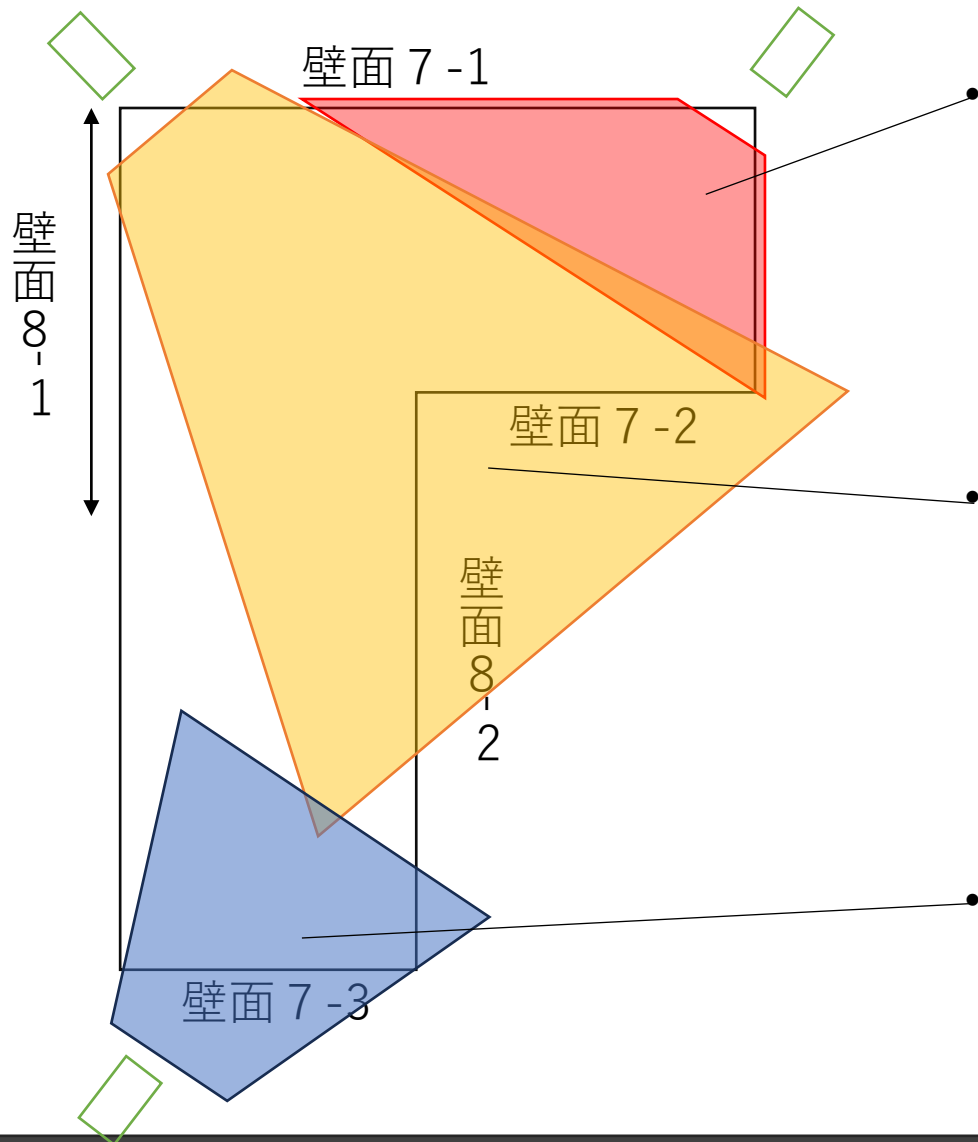
壁面7-3 星空



3000

- 妖怪は描かず、星空を描くことで「黄昏時」の終わりを表現する。
- 星明かりの照明は青いものを使用する
(落ち着きや安心感を与える)

あやかし回廊の照明案

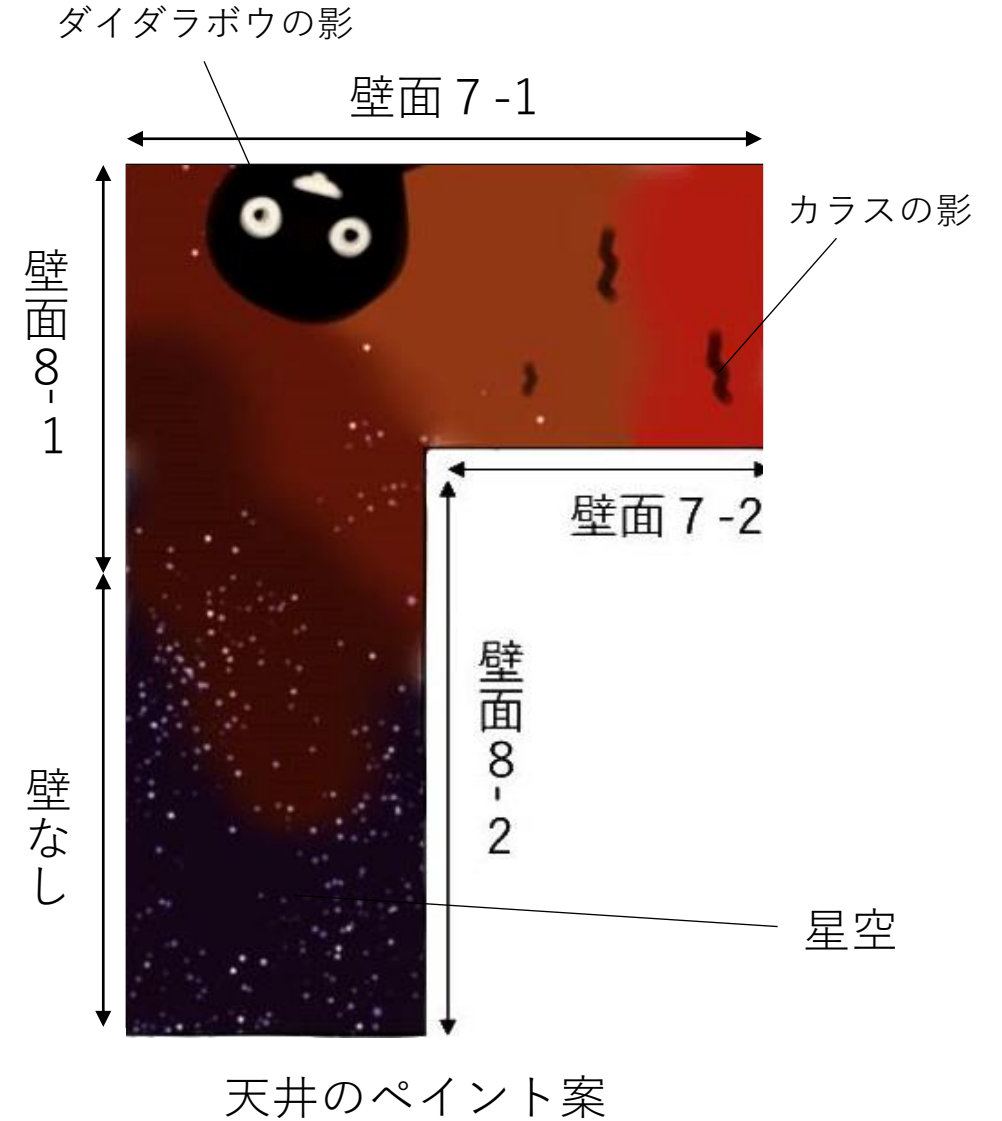
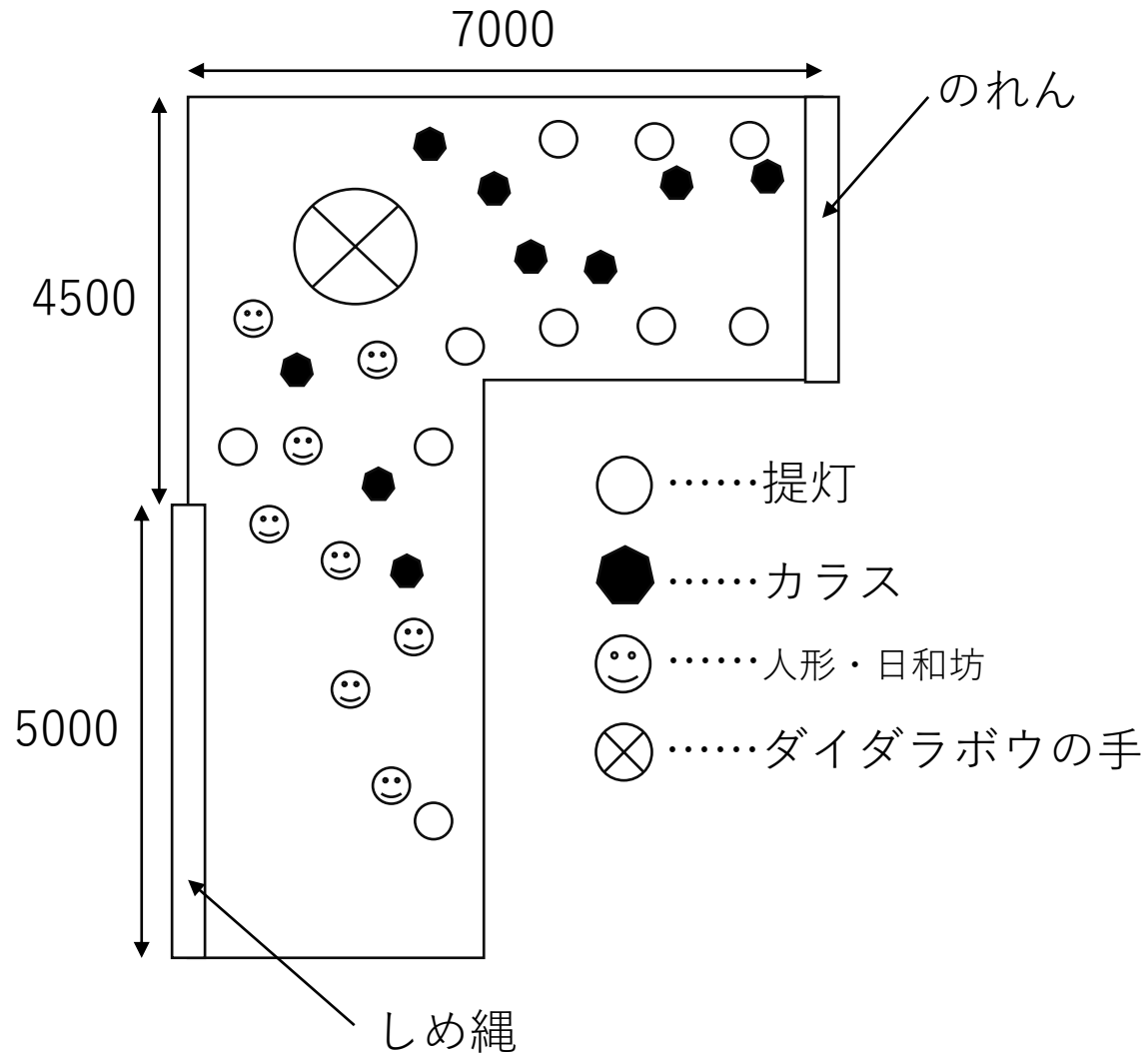


● 入口の赤い照明（集中力を向上させる効果）
強く発光させる（10段階中8くらいの強さ、意識しなくとも色を認識できる程度）

● 鳥居後ろからのオレンジの照明
（リラックス効果＝神様が見守る安心感）
弱く発光させる（10段階中3くらいの強さ、天井を目を凝らしてみた時に色がわかるくらい）

● 星空の青い照明
（ストレスの軽減効果）
発光量は中くらい。（10段階中5くらい、光の色を辛うじて認識できる程度）

あやかし回廊の天井配置



あやかし回廊の天井配置

1. 提灯のイメージ



- 綺麗で新しい提灯と破れたものを組み合わせる
- 赤いものや白いものを中心に使用する
- 提灯の明かりをつける
- 提灯の設置する高さは同じ高さで設置する
約1.8mほどのところ

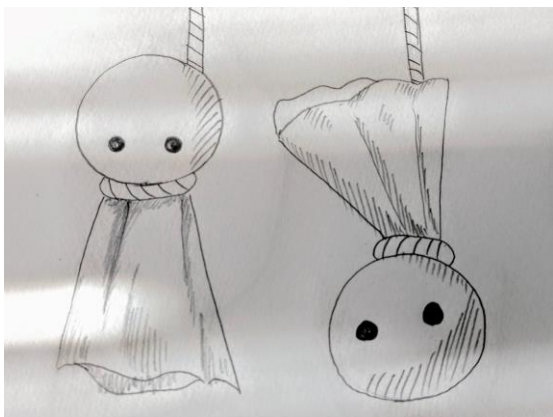
2. カラスのイメージ



- 空を飛んでいるカラスの模型・ぬいぐるみを使用する
- 大きさは50~60cmほど（実物大に近いもの）
- 個体ごとに高さを変化させる（約1.8~2.5mの間で）

あやかし回廊の天井配置

3. 日和坊（てるてる坊主）のイメージ



- 高さを個体ごとに変化させる（約1.8m～2.5m）
- 逆さ坊主や古びて埃をかぶったもの、千切れた紐だけ、なども用意する
- 表情は笑っているものや無表情なもの、顔のないものなどを使用する



あやかし回廊の天井配置

4. 人形のイメージ

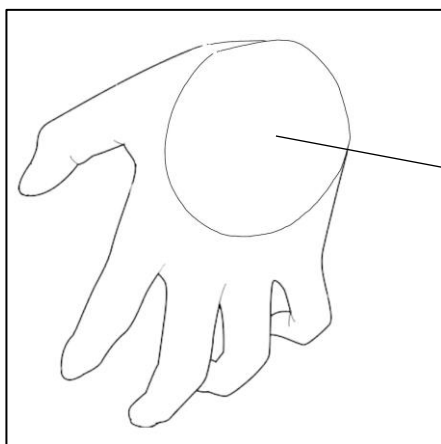


- 吊るされた日和坊の中に混入させて吊るす
- 個体ごとに高さを変えて吊るす（約1.8m～2.5m）
- 吊るす際の紐は「黒」を選ぶ（髪の毛と同色のもの）



あやかし回廊の天井配置

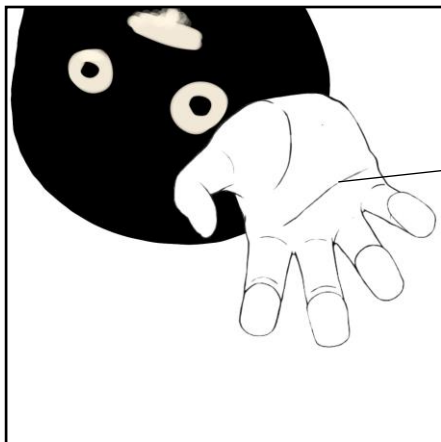
4. ダイダラボウの手のイメージ



- 入館者を掴んでくるような手の形のモニュメントを天井に設置する。

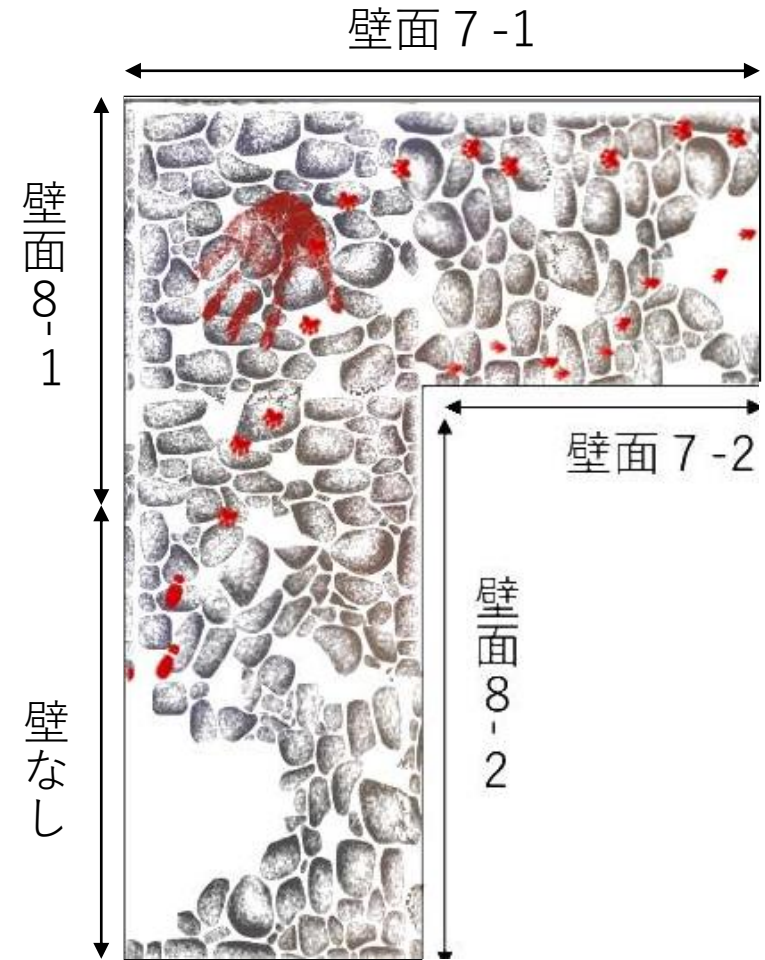
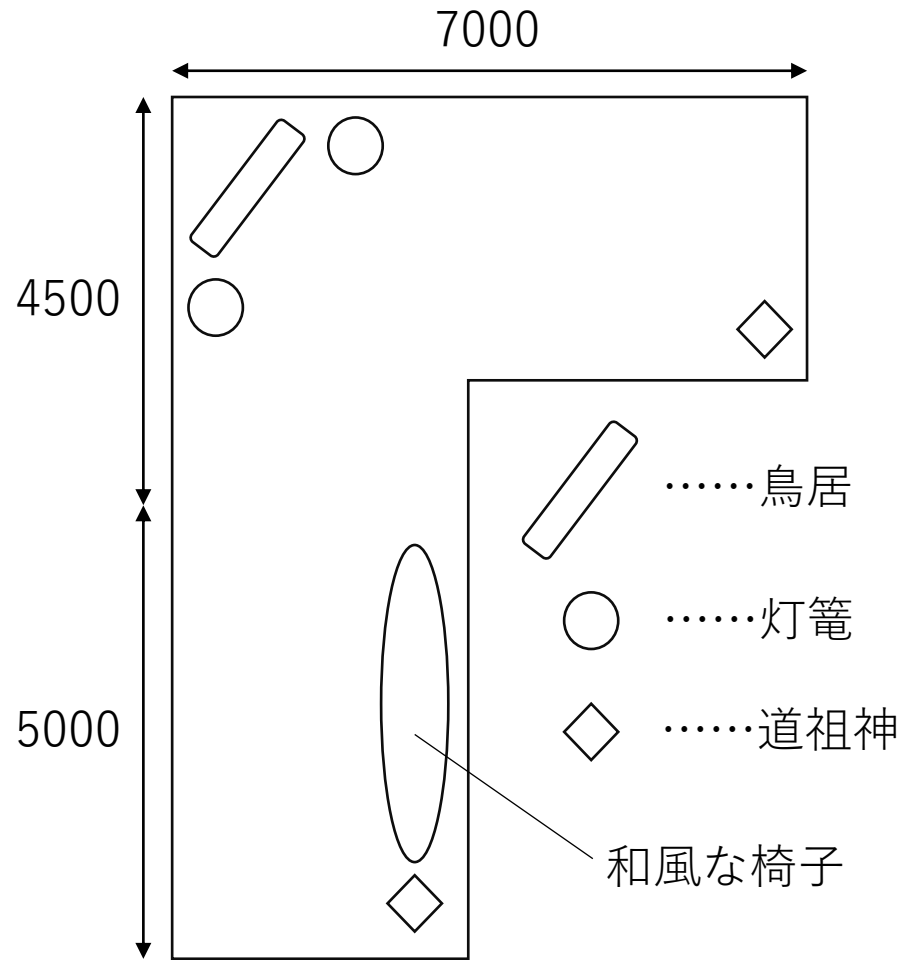
- 接地面は広くとる。材質は発泡スチロール
作成方法について→

<https://youtu.be/9aO4yk5H39M?si=PyTGunSPoky2cKw>



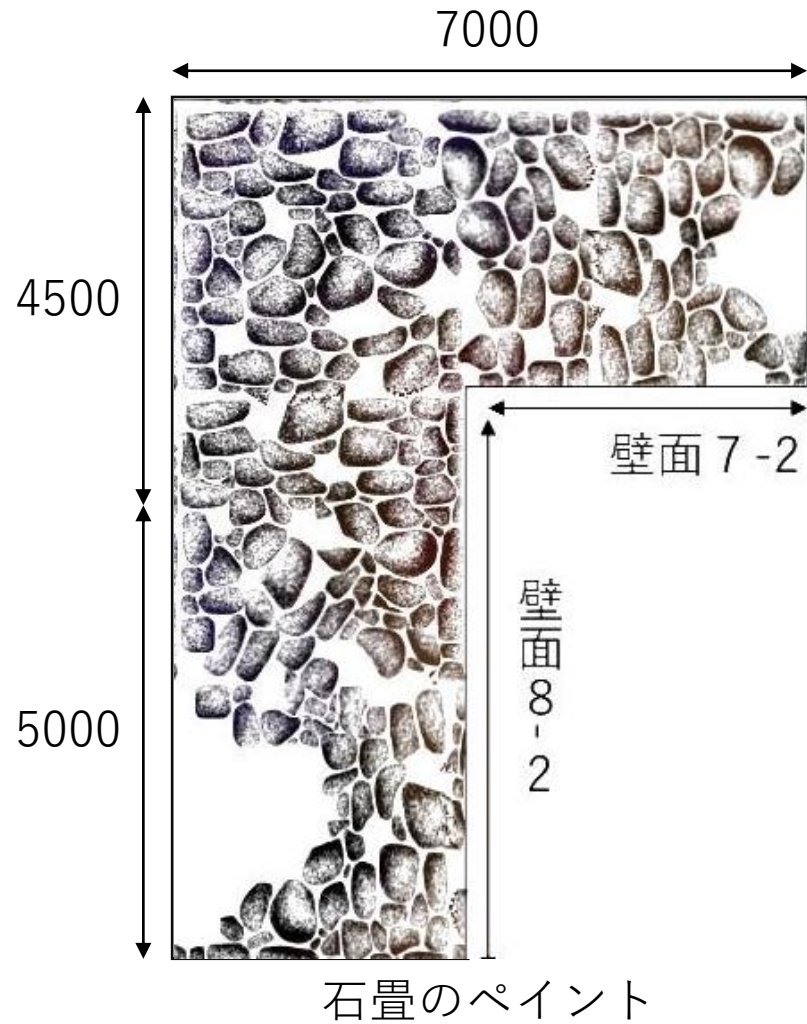
- 下からのぞいた様子
(白い部分が天井から出ている手の部分)

あやかし回廊の床配置

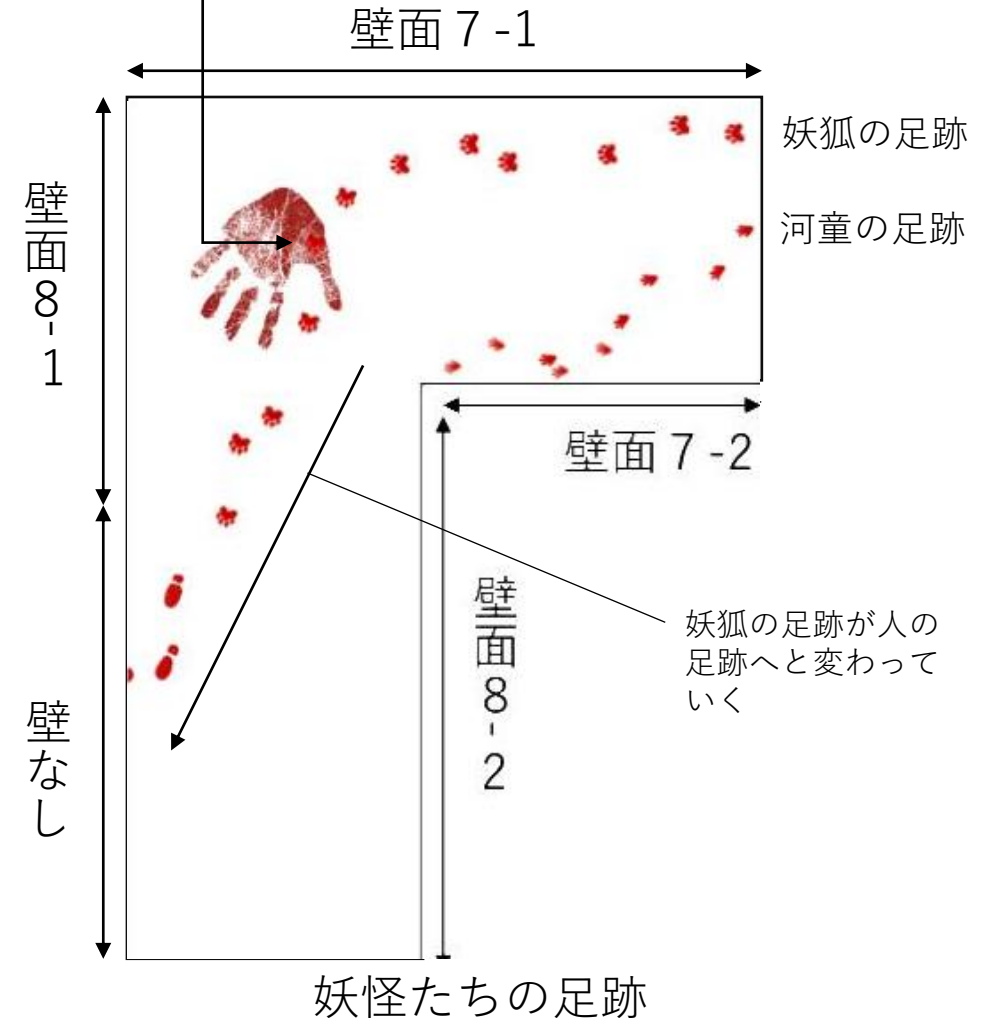


床のペイント案

あやかし回廊の床配置

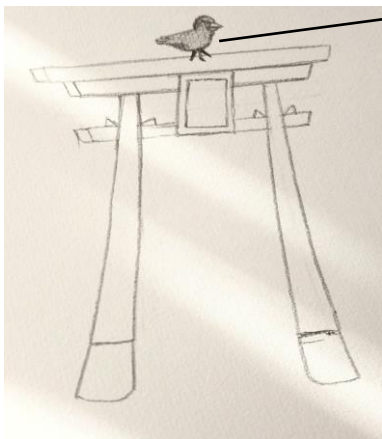


ダイダラボウの手形



あやかし回廊の床配置

1. 鳥居と灯笼



- 鳥居の上にはヤタガラスをのせる
(鳥居=天照大神の岩戸隠れの時に鶏が止まったことから、神の使い鳥が止まるところとされている)

- 灯笼・鳥居共に赤いものを使用する。
- 鳥居の大きさは180cmから2mほど
灯笼は150cmほどの大きさにする
- 灯笼の明かりを灯す。

2. 道祖神 …… 道辻や集落の境目などにあって、悪霊や疫病などの悪いものが入り込まないように見張っている神様



- 材質は発泡スチロールなどの軽いもので作成する。
- 動かないように床面に固定する。
- 苔を配置したり、ミカンや饅頭、花などの小物を設置することでリアルになる。

あやかし回廊の床配置

3. 和風な椅子



- 茶屋の外においてありそうな赤い和風の椅子
- 180cmほどの長さのものを設置する。
- 椅子の上には日本人形を、あやかし回廊から出る入館者をお見送りしているように設置する。